



概要

- [セグメントルーティングについて \(1 ページ\)](#)
- [セグメントルーティングの注意事項と制限事項 \(3 ページ\)](#)

セグメント ルーティングについて

セグメント ルーティングは、ソース ルーティングと同様に、パケットがたどるパスをパケット自体にエンコードする手法です。ノードは、制御された一連の命令（セグメント）によってパケットをステアリングするために、パケットの前にセグメント ルーティング ヘッダーを付加する各セグメントを識別するセグメント ID (SID) は、フラットな 32 ビットの符号なし整数からなる

セグメントのサブクラスであるボーダーゲートウェイプロトコル (BGP) セグメントは、BGP 転送命令を識別します。BGP セグメントには、プレフィックスセグメントと隣接セグメントの 2 つのグループがあります。プレフィックスセグメントは、利用可能なすべての等コストマルチパス (ECMP) パスを使用して、宛先への最短パスを通るようパケットを誘導します。

隣接セグメントは、パケットをネイバーへの特定のリンクに誘導します。

セグメント ルーティングアーキテクチャは、MPLS データプレーンに直接適用される

セグメント ルーティング アプリケーション モジュール

セグメントルーティングアプリケーション (SR-APP) モジュールは、セグメントルーティング機能を構成するために使用されます。セグメントルーティングアプリケーション (SR-APP) は、セグメントルーティングに関連するすべての CLI を処理する独立した内部プロセスです。SR-APP は SR-APP 範囲を予約し、それについてクライアントに通知する役割を担います。また、プレフィックスから SID へのマッピングの維持も担当します。SR-APP サポートは、BGP、IS-IS、および OSPF プロトコルでも利用できます。

SR-APP モジュールは、以下の情報を保持します。

- セグメント ルーティングの動作状態
- セグメント ルーティングのグローバル ブロック範囲

- プレフィックス SID マッピング

詳細については、「[セグメント ルーティングの設定](#)」を参照してください。

MPLS の NetFlow

NetFlow は入力 IP パケットについてパケット フローを識別し、これらのパケット フローに基づいて統計情報を提供します。NetFlow のためにパケットやネットワーキングデバイスを変更する必要はありません。フロー用に NetFlow が収集したデータをエクスポートするには、フロー エクスポートを使用し、このデータを Cisco Stealthwatch などのリモート NetFlow コレクタにエクスポートします。Cisco NX-OS は、NetFlow エクスポート用のユーザ データグラム プロトコル (UDP) データグラムの一部としてフローをエクスポートします。フロー用に NetFlow が収集したデータをエクスポートするには、フロー エクスポートを使用し、このデータを Cisco Stealthwatch などのリモート NetFlow コレクタにエクスポートします。Cisco NX-OS は、NetFlow エクスポート用のユーザ データグラム プロトコル (UDP) データグラムの一部としてフローをエクスポートします。

Cisco NX-OS リリース 9.3(1) 以降、セグメント ルーティング上の NetFlow Collector は、Cisco Nexus 9300-EX、9300-FX、9300-FX2、9500-EX、および 9500-FX プラットフォーム スイッチでサポートされます。

Cisco NX-OS リリース 9.3(5) 以降、セグメント ルーティング上の NetFlow Collector は、Cisco Nexus 9300-FX3 プラットフォーム スイッチでサポートされます。

Netflow は Cisco Nexus 9300-GX プラットフォーム スイッチではサポートされません。

NetFlow Collector は、シングルおよびダブル MPLS ラベルの両方をサポートします。エクスポートの宛先設定のデフォルトおよび非デフォルト VRF の両方がサポートされます。NetFlow は、MPLS データ パスをサポートしていません。

セグメントルーティングは単一のラベルをサポートしないため、BGP ネイバーで **address-family ipv4labeled-unicast** コマンドを設定し、bgp 設定で **allocate-label** コマンドを設定する必要があります。

sFlow コレクタ

サンプリングされた Flow (sFlow) を使用すると、スイッチやルータを含むデータネットワーク内のリアルタイムトラフィックをモニターできます。sFlow では、トラフィックをモニターするためにスイッチとルータ上の sFlow エージェント ソフトウェアでサンプリング メカニズムを使用して、サンプル データを中央のデータ コレクタに転送します。

Cisco NX-OS リリース 9.3(1) 以降、セグメント ルーティング上の sFlow コレクタは Cisco Nexus 9300-EX、9300-FX、9300-FX2、9500-EX、および 9500-FX プラットフォーム スイッチでサポートされます。

Cisco NX-OS リリース 9.3(5) 以降、セグメント ルーティング上の sFlow コレクタは Cisco Nexus 9300-FX3 プラットフォーム スイッチでサポートされます。

sFlow は Cisco Nexus 9364C-GX、Cisco Nexus 9316D-GX、および Cisco Nexus 93600CD-GX スイッチではサポートされていません。

sFlow 設定の詳細については、「*sFlow* の設定」のセクションを参照してください。『Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS システム管理設定ガイド、リリース 9.3(x)』に掲載されています。

セグメント ルーティングの注意事項と制限事項

セグメント ルーティングに関する注意事項および制約事項は、次のとおりです。

- MPLS セグメント ルーティングは、FEX モジュールではサポートされていません。
- Cisco NX-OS リリース 9.3(1) 以降、**segment-routing mpls** コマンドは **segment-routing** に変更されました。
- -R シリーズ ラインカードを搭載した Cisco Nexus 9504 および 9508 プラットフォーム スイッチで MPLS セグメント ルーティングを有効にすると、BFD セッションがダウンしたり、戻ったりする場合があります。BGP ピアリングも、BFD で構成されている場合、ダウンしてからアップします。BGP セッションがダウンすると、ハードウェアからルートが取り消されます。これにより、BGP セッションが再確立されてルートが再インストールされるまで、パケット損失が発生します。ただし、いったん BFD が起動すると、追加のフラップは発生しません。
- セグメント ルーティングは、IGP (OSPF など) の下で、または BGP での AF ラベル付きユニキャストによって実行できます。
- セグメント ルーティングは、Cisco Nexus 9300-FX プラットフォーム スイッチおよび Cisco Nexus N9K-X9736C-FX ラインカードでサポートされています。
- セグメント ルーティングと SR-EVPN は、Cisco Nexus C31108PC-V、C31108TC-V、および C3132Q-V スイッチでサポートされています。
- Cisco NX-OS リリース 9.3(3) 以降、Cisco Nexus 9300-GX プラットフォーム スイッチ上ではレイヤ 3 VPN を設定できます。
- Cisco NX-OS リリース 9.3(3) 以降、セグメント ルーティングと SR-EVPN は Cisco Nexus 9364C-GX、Cisco Nexus 9316D-GX、および Cisco Nexus 93600CD-GX プラットフォーム スイッチでサポートされています。
- Cisco NX-OS リリース 9.3(3) 以降、隣接関係 SID と OSPF は Cisco Nexus 9364C-GX、Cisco Nexus 9316D-GX、および Cisco Nexus 93600CD-GX プラットフォーム スイッチでサポートされています。
- Cisco NX-OS リリース 9.3(3) 以降、OSPF でのセグメント ルーティング、IS-IS アンダーレイ、および BGP ラベル付きユニキャストは Cisco Nexus 9364C-GX、Cisco Nexus 9316D-GX、および Cisco Nexus 93600CD-GX プラットフォーム スイッチでサポートされています。
- BGP は、next-hop-self が有効な場合にのみ、iBGP ルート リフレクタ クライアントに SRGB ラベルを割り当てます（たとえば、プレフィックスは、RR 上のローカル IP/IPv6 アドレスの 1 つであるネクスト ホップでアドバタイズされます）。RR で next-hop-self を設定する

と、影響を受けるルートのネクスト ホップが変更されます（ルート マップ フィルタリングの対象）。

- Cisco Nexus 9300-EX および 9300-FX プラットフォーム スイッチの MPLS 機能では、無停止の ISSU はサポートされていません。
- スタティック MPLS、MPLS セグメントルーティング、および MPLS ストリッピングを同時に有効にすることはできません。
- Cisco NX-OS リリース 9.3(5) 以降、MPLS ストリッピングは Cisco Nexus 9300-GX プラットフォーム スイッチでサポートされます。以下の注意事項が当てはまります。
 - MPLS ストリップ機能を動作させるには、スイッチのリロード後に、**mpls strip** および **hardware acl tap-agg** コマンドを設定する必要があります。
 - Cisco Nexus 9300-GX プラットフォーム スイッチで MPLS ストリップが有効になっている場合、ACL ログ プロセスは表示されません。
 - dot1q VLAN を使用した MPLS ストリップはサポートされていません。
 - すべての二重 VLAN タグについて、2 番目の VLAN 範囲は 2 ～ 510 である必要があります。
 - dot1q を使用した MPLS ストリップはサポートされていません。
 - PACL リダイレクトをサポートするには、入力タップ インターフェイスで **mode tap-aggregation** コマンドを実行する必要があります。
- スタティック MPLS、MPLS セグメントルーティング、および MPLS ストリッピングは相互に排他的であるため、マルチホップ BGP の唯一のセグメントルーティング アンダーレイはシングルホップ BGP です。eBGP をオーバーレイとして実行する iBGP マルチホップ トポロジはサポートされていません。
- 特定のインターフェイスへの転送がその後に続く MPLS ポップはサポートされていません。最後から 2 番目のホップ ポップ (PHP) は、コントロールプレーンが IPv4 黙示的 NULL ラベルをインストールした場合でも、ラベル FIB (LFIB) のアウトラベルとして明示的 NULL ラベルをインストールすれば回避できます。
- BGP ラベル付きユニキャストおよび BGP セグメントルーティングは、IPv6 プレフィックスではサポートされていません。
- BGP ラベル付きユニキャストおよび BGP セグメントルーティングは、トンネルインターフェイス (GRE および VXLAN を含む) または vPC アクセスインターフェイスではサポートされていません。
- MTU パス ディスカバリ (RFC 2923) は、MPLS ラベル スイッチド パス (LSP) またはセグメントルーテッド パスではサポートされていません。
- Cisco Nexus 9200 シリーズ スイッチの場合、レイヤ 3 または MPLS 隣接の隣接統計は維持されません。

- Cisco Nexus 9500 シリーズ スイッチの場合、MPLS LSP およびセグメントルーテッドパスは、サブインターフェイス（ポートチャネルまたは通常のレイヤ3ポートのいずれか）ではサポートされていません。
- Cisco Nexus 9500 プラットフォーム スイッチの場合、セグメントルーティングは非階層ルーティングモードでのみサポートされます。
- BGP 設定コマンドの **neighbor-down fib-accelerate** および **suppress-fib-pending** は、MPLS プレフィックスではサポートされていません。
- RFC 2973 および RFC 3270 で定義されている統一モデルはサポートされていません。したがって、IP DSCP ビットはインポーズされた MPLS ヘッダーにコピーされません。
- ラベルを利用した BGP など、プロトコルを設定する前にセグメントルーティング グローバルブロック（SRGB）が構成されていることを確認する必要があります。割り当ての問題を防ぎ、既存のラベル割り当ての影響を受けずに SRGB が正しく初期化されるようにするには、この構成順序に従う必要があります。
- セグメントルーティング グローバルブロック（SRGB）を再構成すると、BGP プロセスが自動的に再起動され、既存の URIB および ULIB エントリが更新されます。トラフィックの損失は数秒間発生するため、本番環境で SRGB を再構成しないでください。
- セグメントルーティング グローバルブロック（SRGB）が範囲に設定されているが、ルートマップラベルインデックスデルタ値が設定された範囲外にある場合、割り当てられたラベルは動的に生成されます。たとえば、ルートマップのラベルインデックスが 9000 に設定されているときに SRGB が 16000 ～ 23999 の範囲に設定されている場合、ラベルは動的に割り当てられます。
- ネットワークの拡張性のため、トップオブラック（ToR）または境界リーフスイッチから接続されているプレフィックスをアドバタイズするマルチホップ BGP とともに階層型ルーティング設計を使用することを推奨します。
- BGP セッションは、MPLS LSP またはセグメントルーテッドパスではサポートされていません。
- レイヤ 3 転送整合性チェッカーは、MPLS ルートではサポートされていません。
- Cisco Nexus 9000 シリーズ スイッチのオンデマンドネクストホップを使用して、セグメントルーティングトラフィックエンジニアリングを設定できます。
- セグメントルーティングのレイヤ 3 VPN およびレイヤ 3 EVPN ステッチングは、Cisco Nexus 9000 シリーズ スイッチでサポートされています。
- Cisco NX-OS リリース 9.3(3) 以降、セグメントルーティング用のレイヤ 3 VPN およびレイヤ 3 EVPN ステッチングは、9300-GX プラットフォーム スイッチでサポートされています。
- OSPFv2 は、Cisco Nexus 9000 シリーズ スイッチのセグメントルーティングの IGP コントロールプレーンとして設定できます。

- セグメント ルーティングのレイヤ 3 VPN およびレイヤ 3 EVPN ステッチングは、-EX ラインカードを備えた Cisco Nexus 9364C、9200、9300-EX、および 9500 プラットフォーム スイッチではサポートされていません。
 - OSPF セグメント ルーティング コマンドおよびオンデマンド ネクスト ホップを使用したセグメント ルーティング トラフィック エンジニアリングは、Cisco Nexus 9364C スイッチではサポートされていません。
 - セグメント ルーティングは、Cisco Nexus 9300-FX2 および 9300-FX3 プラットフォーム スイッチでサポートされています。
 - セグメント ルーティングのためのレイヤ 3 VPN およびレイヤ 3 EVPN ステッチング、OSPF セグメント ルーティング コマンド、およびオンデマンド ネクスト ホップを使用したセグメント ルーティング トラフィック エンジニアリングは、Cisco Nexus 9364C スイッチでサポートされています。
 - セグメント ルーティングを介したレイヤ 3 VPN は、Cisco Nexus 3100、3200、9200、9300、9300-EX/FX/FX2/FX3 プラットフォーム スイッチ、および EX\FX と R ライン カードを搭載した Cisco Nexus 9500 プラットフォーム スイッチでサポートされています。
 - セグメント ルーティング設定を削除すると、MPLS およびトラフィック エンジニアリング設定を含む、関連するすべてのセグメント ルーティング設定が削除されます。
 - ブート変数を設定してスイッチをリロードすることによって、Cisco Nexus デバイスを Cisco NX-OS リリース 9.3(1) から以前の NX-OS リリースにダウングレードすると、セグメント ルーティング MPLS の以前の設定がすべて失われます。
 - Cisco NX-OS リリース 9.3(1) から ISSD を実行する前に、セグメント ルーティング設定を無効にする必要があります。そうしないと、既存のセグメント ルーティング構成が失われます。
 - セグメント ルーティング MPLS 隣接統計は、出力ラベル スタックと中間ノードのネクスト ホップに基づいて収集されます。ただし、PHP モードでは、同じスタックがすべての FEC で共有されるため、統計はすべての隣接で表示されます。
 - スイッチでセグメント ルーティングが有効になっている場合、dot1Q タグ付き MPLS パケットの Q-in-Q タギングはサポートされておらず、パケットは外部タグのみで出力されます。
- 例：VLAN 100 を使用する、アクセス dot1q トンネルモードの入力ポートについて考えます。着信 MPLS トラフィックには、200 の dot1Q タグがあります。通常、トラフィックは外部タグ 100、内部タグ 200(着信パケットのタグと同じ)で送信されます。ただし、パケットは外部タグ付きで送信され、内部タグは失われます。
- 着信 MPLS パケットにタグが付いておらず、入力ポートがアクセス VLAN モードの場合、セグメント ルーティングが有効になっていれば、パケットはタグなしで出力されます。
 - BGP、OSPF、および IS-IS アンダーレイを同時に使用してセグメント ルーティングを構成しないことをお勧めします。

- Cisco NX-OS リリース 10.2(1q)F 以降、SR-MPLS は N9K-C9332D-GX2B プラットフォームスイッチでサポートされます。ただし、SR PBR および MPLS ストリップ dot1q 機能は、GX2 スイッチではまだサポートされていません。
- Cisco NX-OS リリース 10.4(3)F 以降では、9808 および 9804 スイッチを搭載した Cisco Nexus X98900CD-A および X9836DM-A ラインカードでセグメントルーティング用のレイヤ 3 VPN およびレイヤ 3 EVPN を設定できます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。